

平成 28 年 福島県の貿易概況のポイント (確定値)

1. 福島県の貿易概況(前年比較)

- ・輸出額:707 億 46 百万円 ⇒ 約 26 億円の増加(3.8%増)
- ・輸入額:3,046 億 49 百万円 ⇒ 約 944 億円の減少(23.6%減)
- ・輸出入合計:3,753 億 95 百万円 ⇒ 約 918 億円の減少(19.6%減)

【輸出動向】

輸出額は、平成 24 年以降 5 年連続の増加。

主に原動機、ゴムタイヤ及びチューブ、船舶類等が増加の要因。

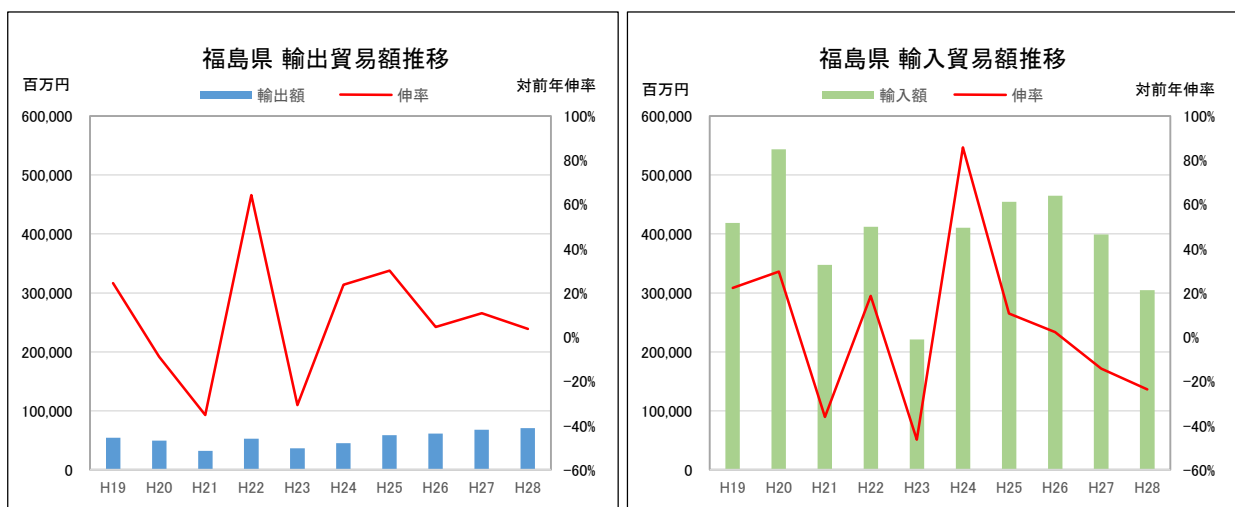
地域(国)別では、アメリカ合衆国、中華人民共和国、スペイン等が増加。

【輸入動向】

輸入額は、平成 27 年以降 2 年連続の減少。

主に石炭、非鉄金属鉱、石油製品等が減少の要因。

地域(国)別では、オーストラリア、チリ、インドネシア等が減少。



2. 港別の貿易概況(前年比較)

(1) 小名浜港

- ・輸出額:283 億 61 百万円 ⇒ 約 28 億円の減少(9.0%減)
- ・輸入額:2,278 億 6 百万円 ⇒ 約 649 億円の減少(22.2%減)
- ・輸出入合計:2,561 億 67 百万円 ⇒ 約 677 億円の減少(20.9%減)

【輸出動向】

輸出額は、前年と比較して反転減少。

主に有機化合物、医薬品、無機化合物等が減少の要因。

地域(国)別では、オランダ、フィリピン、マレーシア等が減少。

【輸入動向】

輸入額は、平成 27 年以降 2 年連続の減少。

主に非鉄金属鉱、石炭、石油製品等が減少の要因。

地域(国)別では、チリ、オーストラリア、マレーシア等が減少。

(2) 相馬港

- ・輸出額:423 億 85 百万円 ⇒ 約 54 億円の増加(14.5%増)
- ・輸入額:768 億 43 百万円 ⇒ 約 294 億円の減少(27.7%減)
- ・輸出入合計:1,192 億 28 百万円 ⇒ 約 240 億円の減少(16.8%減)

【輸出動向】

輸出額は、平成 22 年以降 7 年連続の増加。

主に原動機、船舶類、くぎ・ねじ・ボルト及びナット類等が増加の要因。

地域(国)別では、英国、スペイン、アメリカ合衆国等が増加。

【輸入動向】

輸入額は、前年と比較して反転減少。

主に石炭、粗鉱物(除りん鉱石)、鉄鋼等が減少の要因。

地域(国)別では、オーストラリア、インドネシア、タイ等が減少。

(3) 福島空港

- ・輸出額:実績なし
- ・輸入額:実績なし
- ・輸出入合計:実績なし

【輸出動向】

6年連続実績なし。

【輸入動向】

2年連続実績なし。

【参 考】 「速報」、「確報」及び「確定」について

貿易統計は、税関への輸出入申告等を基に作成していますが、申告時の誤りや輸出入取引による価格の変更等が生じる場合があります。そこで、できるだけ、正確な統計を提供すべく、申告者の皆様など関係者の方々にご協力いただき、訂正作業を行っています。

○速報

この訂正作業の第1段階の締切日で作成したものが「速報」です。

○輸入 9 桁速報及び輸出確報

毎月の定期的な訂正作業の最終締切日で作成したものが「輸入 9 桁速報」及び「輸出確報」です。

小名浜税関支署で提供する資料の「輸入：速報値」は、この輸入 9 桁速報を使用しています。

※輸入 9 桁：統計品目番号

○輸入確報

以前は、「輸入 9 桁速報」はなく、上記の毎月の定期的な訂正作業の最終締切日の段階で、輸入についても輸出と同様に「確報」としていましたが、特例申告制度に対応するため、輸入については「確報」を1か月遅らせることになりました。

○確定

定期的な訂正作業を終了した後に訂正箇所が新たに発見された場合、統計数値をそのたびに訂正することはせず、翌年に一括して訂正を行い、「確定」とします。「確定」の発表以後は、訂正箇所が新たに発見されても、統計数値を変更しません。